



避難海域は、水深200m以上を目安にしてください。

水深100m以上あれば、とりあえず暫定的な避難海域になるとも言われています。この時は、十分に海岸から離れた広い海域で、津波が海岸の影響を受けない海域であること。

- 1 強い地震（震度4程度以上）を感じたとき又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに港外退避（注1、2参照）
- 2 地震を感じなくても、津波警報、注意報が発表されたら、すぐ港外退避（注1、2参照）
- 3 正しい情報をラジオ・テレビ・無線などを通じて入手
- 4 港外退避できない小型船は、高い所に引き上げて固縛するなど最善の措置をとる（注2参照）
- 5 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない

（注1）港外：水深の深い（目安は水深200m以上）、広い海域
 （注2）港外退避：小型船の引き上げ等は、時間的余裕がある場合のみ行う

津波に対する参考メモ

灯台等航路標識